

松戸市など東葛5市の新小学1年生に

「交通安全じゅうちょう」寄贈

ポラスグループ・ポラス(株)



同社の片平貢丈広報課長(左)と伊藤純一教育長

ポラスグループ・ポラス(株)(埼玉県越谷市、中内晃次郎社長)は松戸市、柏市、流山市、野田市、我孫子市の教育委員会を通じて、新小学1年生合計1万2084人に「交通安全じゅうちょう」を寄贈した(松戸市は11日)。

ポラスグループでは、2000年より松戸市、流山市、野田市を対象に、横断歩道で

手を挙げることを啓発するスポンジ製の手形ツール「セーフティハンド」の寄贈を行っており、2010年からは寄贈物を「交通安全じゅうちょう」に変更した。自由帳の寄贈は今年で14年目となる。

セーフティハンドからは24年間継続して、新小学1年生の交通安全啓発の支援をしている。

同社では、「今後も、子どもたちの交通安全の支援や、安全で安心して暮らせる住みづくり・街づくりを推進してまいります」としている。